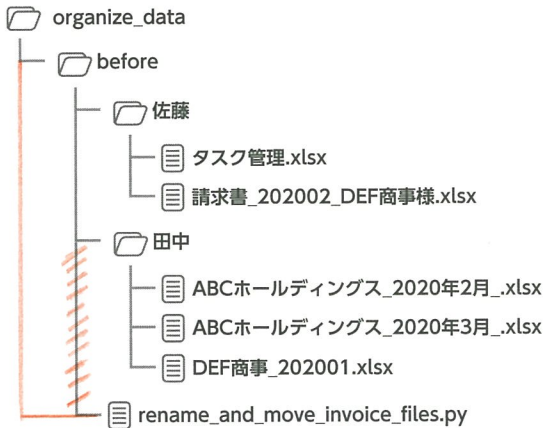


▼図 7-12 フォルダ構成



7-2-1 作業用フォルダにすべてのファイルをコピーする

before フォルダのまま、新しいフォルダ作成と各ファイル名の変更と移動を行ってもいいのですが、ファイルを誤削除してしまう危険があります。そのため、あらかじめ作業用フォルダをつくり、そこにすべてのファイルをコピーしておきましょう。今回は作業用フォルダを「after」という名前にします。

フォルダのコピーを行うには、shutilモジュールのcopytree()関数を使います(p147の5-1-5項参照)。この処理は続けて二度実行すると、2回目はすでにフォルダが存在するため、エラーになります。そこで、プログラムを何度実行してもエラーで処理が終了しないよう、例外処理(p80の2-7節参照)を仕込んでおきます。

```

import shutil

try:
    shutil.copytree('.\\before', '\\after')
except FileExistsError as e:
    print('すでにafterフォルダが存在します')
  
```